

第2次日野市下水道プラン(後期計画)【概要版】

■ 策定の背景と主旨

下水道は公衆衛生の向上、都市の健全な発展および公共用水域の水質保全に貢献します。さらに、宅地や道路等に降った雨水を速やかに排除し浸水被害を軽減する等、私たちが快適で、安全・安心に生活するために欠かせない社会資本の一つです。日野市では、平成24年(2012年)3月に下水道における総合的な計画「日野市下水道プラン(計画期間:平成24年度(2012年度)から～令和3年度(2021年度)まで)」を策定し、重点的かつ計画的な事業運営に努めてきました。

その結果、市内を流れる多摩川・浅川等の河川水質が向上し、市民の憩いの空間や生物の生息空間が形成されるようになりました。

しかし、近年多発する集中豪雨への対応、大規模地震による被害への対応、膨大な量の下水道施設の維持管理、人口減少による使用料収入の減少等、新たな課題に直面しています。

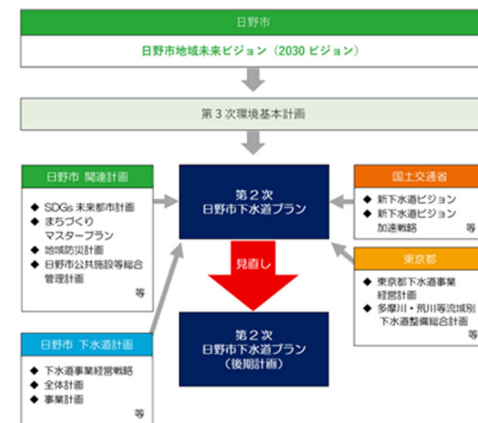
「第2次日野市下水道プラン(計画期間:令和4年度(2022年度)から令和12年度(2030年度)まで)」は、こうした現状の課題に対して、中・長期的視野に立ち、今後進むべき方向性や課題解決に向けた取組方針を検討し、今後実施すべき公共下水道事業の具体的な施策を示すものです。

令和7年度(2025年度)は「第2次日野市下水道プラン」の計画期間における中間年度にあたることから、令和6年度(2024年度)までの取組状況を踏まえて計画目標に対する進捗評価を行い、今後5年間の施策について検討し、その結果を踏まえ、「第2次日野市下水道プラン(後期計画)」を策定しました。

■ 計画の位置づけ

第2次日野市下水道プラン(後期計画)は、国が示した「新下水道ビジョン」、東京都が策定した「多摩川・荒川等流域別下水道総合計画」、日野市が策定している「日野地域未来ビジョン2030(2030ビジョン)」や日野市の各種計画等を勘案して策定します。

また、環境基本計画を上位計画とし、連携を図ります。



【下水道プランの位置づけ】

■ 計画期間

第2次日野市下水道プランの計画期間は、9年間(令和4年度(2022年度)から令和12年度(2030年度)まで)とし、最初の4年を前期計画、その後の5年を後期計画として設定します。本計画は後期計画の期間にあたります。

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
第2次日野市下水道プラン	事業実施	事業実施	事業実施	中間評価(計画見直し)	事業実施	事業実施	事業実施	事業実施	目標	
各種関連計画	(後期計画期間)									
日野市 陸域計画	日野地域未来ビジョン2030	策定予定	事業実施	事業実施	事業実施	事業実施	事業実施	事業実施	目標	
	SDGs 未来都市計画		事業実施	事業実施	事業実施	事業実施	事業実施	事業実施	目標	
	第3次環境基本計画		計画推進	中間検証	計画推進	計画推進	計画推進	計画推進	目標	
下水道計画	下水道事業経営戦略	事業実施	事業実施	中間評価(計画見直し)	事業実施	事業実施	事業実施	中間評価(計画見直し)		
	全体計画	事業実施	計画変更	事業実施	事業実施	事業実施	事業実施	事業実施		
	事業計画	事業実施	計画変更	事業実施	事業実施	事業実施	事業実施	計画変更		

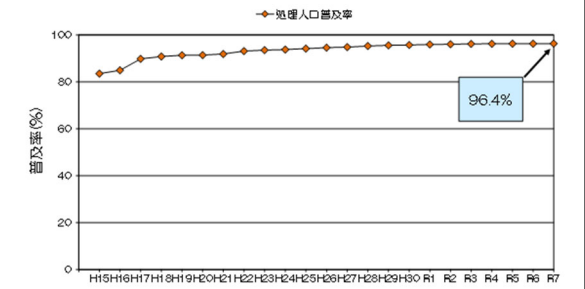
※事業計画は、事業期間が5～7年です。令和8年度以降は、事業進捗に応じて計画変更を行います。

【下水道プランと各種関連計画の進行スケジュール】

■ 現状と課題

● 汚水処理

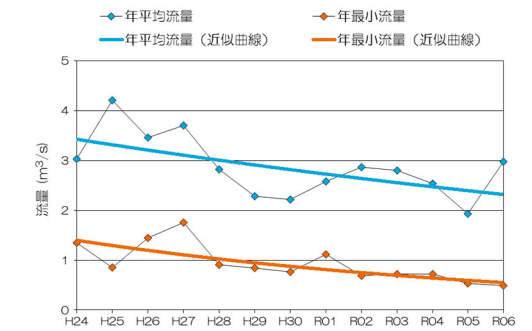
- 日野市の下水道処理人口普及率は96.4%、水洗化は97.9%に達しました。
- 公共用水域の水質や使用料収入の向上を図るため、汚水未整備区域の解消と水洗化率100%への取り組みを実施する必要があります。



【下水道処理人口普及率の推移】

● 水環境の保全

- 汚水整備が進むにつれ、浅川の水質は向上しました。
- 一方、市街化に伴う地下浸透域の減少から、浅川の水量は減少傾向にあります。
- 浅川の流量維持や湧水の保全のため、雨水浸透施設の設置を促進する必要があります。
- また、雨水浸透施設の機能を長く維持するため、市民や民間事業者等に、定期的な清掃・点検に協力してもらう必要があります。



【浅川における流量の推移】

● 浸水対策

- 近年の気候変動により、世界中で気温上昇や降水量、降雨パターンの変化等の気象変化が顕在化しています。
- 日野市の雨水整備は、特に浸水被害が多発している地域について集中的に事業を推進し、面整備率は90.1%に達しました。
- 今後は、内水ハザードマップの作成等により、自助・共助の促進を組み合わせた総合的な浸水対策が必要となります。
- さらに、雨水管理総合計画の策定を踏まえて、浸水リスクがある地区に対して、効率的かつ計画的に対策を進める必要があります。

● 地震対策

- 「液状化の可能性が高い」地域の重要な幹線等に対する耐震化率は、100%となっています。
- 災害時対応として、下水道施設の機能を維持・早期回復できるよう努める必要があります。

● 維持管理

- これまで整備してきた膨大な量の下水道施設を適切に管理するために、計画的な点検・調査および効率的な修繕・改築を実施するとともに、維持管理情報の集積と活用が重要となります。事業の実施にあたっては、民間活力を積極的に活用することも検討し、着実な維持管理の実効性を高めていくことが望まれます。
- 昨今、雨天時に雨水が污水管に流入することによる排水処理の不具合が問題となっており、計画的な対策が必要となります。

● 資源の循環利用

- 処理水や下水汚泥は、多様な資源として活用できる可能性を有しています。
- これまで日野市では、東京都と連携し、処理水の再利用や下水汚泥の有効利用に努めてきたことから今後も処理水や汚泥の有効利用に協力していく必要があります。

● 魅力の発信

- 日野市では、マンホールカードやイベントを活用し、市民に対して啓発活動を行ってきました。
- 今後も、市民に対し、下水道事業について理解・関心の強化や、防災意識を向上していくため、積極的な広報活動を実施する必要があります。

● 下水道経営

- 将来にわたり安定した事業運営を行うことを目標として、令和3年度(2021年度)に「日野市公共下水道事業経営戦略」を策定しました。
- 耐用期間の迫る下水道施設を計画的に更新するために支出の増加が見込まれることから、「日野市公共下水道事業経営戦略」に基づき、経営の健全化を推進する必要があります。
- 人口減少や社会情勢を踏まえて、適正な下水道使用料の金額を定期的に検証する必要があります。
- 経費の節減や業務の効率化、職員の技術継承に向けた、広域化・共同化を推進する必要があります。

■ 基本理念・基本方針および具体的施策の内容

日野市の下水道事業は、時代の変化に伴い、解決すべき課題が顕在化しています。こうした状況の中、下水道の基本的な役割を担い続けるとともに、長期的な視点に立って下水道サービスの更なる向上を図る必要があります。また、課題やニーズが多様化・複雑化し、市だけでの対応が難しくなっており、こうした課題を解決するためには、市民の皆様の協力や東京都との連携が必要不可欠です。

後期計画では、前期計画の取組を継続しつつ、浸水対策における気候変動に対応した浸水対策の強化、地震対策における災害対応能力の強化、維持管理における下水道ストックマネジメント計画に基づく維持管理に対する具体的な取組内容(例：民間活力の活用(W-PPPの導入))を一部見直しました。

第2次日野市下水道プラン（後期計画）（令和8年度～令和12年度）					前回プランの見直し
基本理念	基本方針	主な施策	取組	取組内容	
水が豊かで、安心・安全なまちづくり 日野	自然と調和した環境に優しいまちづくり	汚水処理	① 公共下水道（汚水）の整備促進	土地区画整理事業に合わせた未整備地区の整備促進を行います。	継続
			② 下水道管きょ（汚水）への接続促進	未接続家屋の下水道への接続促進に努めます。	継続
	水環境の保全	① グリーンインフラの取組促進	グリーンインフラの考え方にに基づき、雨水の地下浸透を図り、水循環の健全化を推進します。	継続	
		浸水対策	① 公共下水道（雨水）の整備促進	浸水リスクを評価し、雨水整備の優先度の高い地域を中心に雨水整備を推進します。	継続
	★重点項目 ② 気候変動に対応した浸水対策の強化		計画規模を超える降雨に対して、ハード対策、ソフト対策、自助・共助の促進を組み合わせ合わせた総合的な浸水対策を推進します。	継続（一部見直し）	
	地震対策		① 災害対応能力の強化	下水道BCPの継続的な見直し・定期的な訓練を実施し、避難所におけるトイレの確保・管理について計画を策定します。	継続（一部見直し）
		維持管理	① 下水道ストックマネジメント計画に基づく維持管理	下水道施設の老朽化による道路陥没等の被害が起らないよう、計画的・効率的な維持管理を実施します。	継続（一部見直し）
	★重点項目 ② 雨天時浸入水対策の推進		雨天時浸入水に対して、計画的な対策を推進します。	継続	
	③ 維持管理のデジタル化推進		下水道施設の老朽化や雨天時浸入水等に的確に対応していくため、維持管理のデジタル化を推進します。	継続	
	地域の魅力を活かしたまちづくり	資源の循環利用	① 下水道資源の有効利用	東京都と連携し、処理水や下水汚泥の有効利用に努めます。	継続
		魅力の発信	① 情報発信の充実	下水道の魅力や防災情報を積極的に発信していくことで、“下水道の見える化”に努めます。	継続
	健全な下水道経営	下水道経営	★重点項目 ① 経営戦略に基づく事業運営	経営戦略に基づいた事業運営を行い、経営基盤の強化に努めます。	継続
② 広域化・共同化の検討			効率的な管理が可能な広域化・共同化について、近隣自治体と検討します。	継続	

注. 前期計画からの見直しについては、継続：前期計画の施策をそのまま踏襲するもの、継続（一部見直し）：一部、前期計画の施策を見直し、追加して実施するものを示します。

浸水対策

★重点項目
② 気候変動に対応した浸水対策の強化

ハード対策
・浸透施設の普及、貯留施設の設置検討

ソフト対策
・雨水出水浸水想定区域図は公表済みであるため、住民への周知の実施
・内水ハザードマップの作成、公表の実施
・BCPの実施
・情報発信の検討

自助・共助
・防災訓練等の実施

維持管理

★重点項目
② 雨天時浸入水対策の推進

・雨天時浸入水調査に基づき、優先度を考慮した対策工事の実施
・ストックマネジメント計画と調整を図った対策工事の実施

下水道経営

★重点項目
① 経営戦略に基づく事業運営

・経営戦略に基づいた事業運営による、経営の健全化推進
・経営戦略の検証・見直しと合わせ、5年に1回の頻度で、適正な下水道使用料の金額設定の検討
・公営企業会計による“経営の見える化”の推進

◆見直し内容◆

浸水対策

② 気候変動に対応した浸水対策の強化

- ・雨水管理総合計画の策定を踏まえて、浸水リスクがある地区に対して、効率的かつ計画的に対策を推進
- ・雨水出水浸水想定区域図の作成を踏まえ、内水ハザードマップの作成、公表を実施

地震対策

① 災害対応能力の強化

- ・「下水道施設の耐震対策指針と解説」の改訂を踏まえ、「日野市上下水道耐震化計画」の見直し要否を判断

維持管理

① 下水道ストックマネジメント計画に基づく維持管理

- ・近い将来、多くの施設が更新時期を迎えることから、W-PPPの検討を進め、導入を図る

■ 進捗の管理

第2次日野市下水道プラン(後期計画)においては、令和12年度(2030年度)までの計画となります。最終年の令和12年度(2030年度)までの取組や社会情勢の変化も考慮し、最終年において次期計画の検討を行います。

なお、第2次日野市下水道プラン(後期計画)は、上位計画である第3次環境基本計画の実行計画として位置づけられています。下水道プランのPDCAの進行管理とともに、第3次環境基本計画における「評価(Check)」を踏まえ、事業を推進していきます。

